

# ときめき

No.445  
2021 12-15

## 小豆大規模産地化のための研究を実施中！

島根県農業技術センターでは、水田大区画ほ場整備後の高収益作物として、小豆の多収栽培技術確立に取り組んでいます！

島根県において小豆は、正月の小豆雑煮、日本三大和菓子処とされる松江の和菓子、ぜんざいの発祥と言われる「出雲ぜんざい」など古くからゆかりがある需要の高い品目です。また、県内平坦部の大区画ほ場整備後の高収益作物として、小豆の大規模生産が注目されており、中でも宍道湖西岸地区においては、2030年頃に約140haの産地化を目指しています。

そこで当センターでは、令和元年から小豆の安定多収栽培技術の確立に向けた研究を開始し、機械化体系に適合した播種条件の検討や施肥技術、雑草防除体系等の確立や、作期・作業分散の課題解決等に取り組んでいます（図1）。また、小豆の大規模生産に向けて、栽培暦を作成（図2）しながら、生産現場での現地試験も行い、栽培技術の早期普及を目指しています。

今後も本県の集落営農組織等での経営多角化や高収益作物導入による収益向上に寄与する研究に取り組んでいきます。



図1 栽培試験の様子

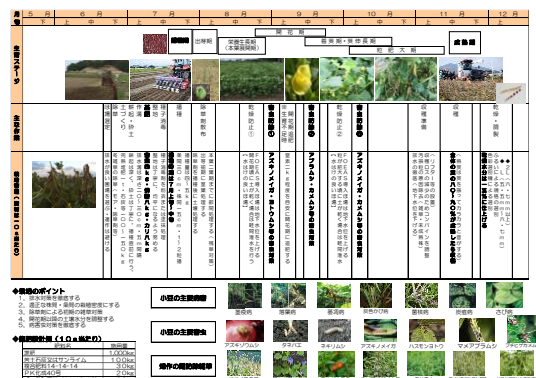


図2 栽培暦の作成

問い合わせ先：栽培研究部作物科（担当:川岡 達也）

TEL 0853-22-6946

E\_mail:nougi@pref.shimane.lg.jp